



～子ども達から地域交流を行い子育てしやすい環境をつくらう！～

福岡県立八幡高等学校 夢現∞プロジェクト11A班

阿部 多田 東 石松 泉原 緒方 定司 西岡 広松

●課題解決のための目標

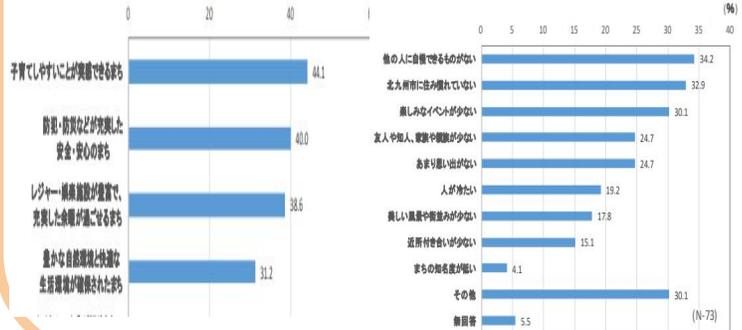
子ども達から地域交流を行い、子育てしやすい環境をつくらう！

地域の人と関わる機会、子育てする上での困り感を共有する場が少ないこと、地域交流の機会に対する興味・認知度の低下を解決すること。



●研究の動機

高校生である私達だからこそできる地域活動への参加やイベント開催によって子育てしやすく住みやすい環境を作りたい！



①都市化の進展や核家族化

②地域の繋がりが希薄化

③地域や社会から孤立しがちな子育て家族の増加

④子育てに不安や負担を感じる家族が増加

⑤子供が様々な体験を通して人とふれあい、自己を形成する機会減少



コミュニケーション能力、自立心、主体性、協調性など子ども、若者の生きる力低下



北九州市の魅力はどこかと思いませんかという北九州市企画調整局のアンケートで、子育てしやすいという項目が少ないことに注目！！

北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）では力を入れてほしい子育て支援策（小学生）で「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」が59.5%で最も高かった
⇒子ども向けのイベントを行おう！

・アクションプラン

＜イベント開催に向けての流れ＞

子供の館様へ交渉のお電話を行う



子供の館様に伺い再度お願いをする

⇩ **OKの連絡をいただく**

ボランティアに参加させていただく

⇩ **運営の仕方を学ぶ**

イベントに向けての打ち合わせを行う



「高校生とおばけ釣り」開催

1. 子どもの館でボランティア

イベントのお手伝い、アンケートの実施

● **臨機応変な対応ができた**
アンケートの回答が多かった

◆ **積極的に行動できていなかった**

2. イベントを開催

「高校生とおばけ釣り」

イベント準備や打ち合わせ、運営

● **多くの人の参加**

◆ **打ち合わせが不十分**



・今後の展望

① イベント内容の提案

▶ イベントを行う回数を増やし地域交流の増加に繋げる

② ボランティア活動の参加

▶ イベント運営に参加していきたい

・長期的な見通し

① 道具の譲渡

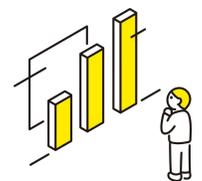
▶ 道具作成にかかる費用、時間を省くことでイベント開催を前向きに考えることができる

② ボランティアの発信

▶ イベントを作る担い手不足を解消できる

③ 活動の受け継ぎ

▶ 私たちの学びからの改善点を踏まえてさらに良い活動ができる



参考文献

・まちおこしイベント開催に向けて絶対に用意すべきPRツール7選

[keikaku04.pdf \(fukuoka.lg.jp\)](http://keikaku04.pdf(fukuoka.lg.jp))